

「実用的な軌道技術報告会」を開催しました

平成 27 年 12 月 2 日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「実用的な軌道技術報告会」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研は、去る平成 27 年 11 月 27 日に「実用的な軌道技術報告会」を開催し、鉄道事業者を中心に 39 社、100 名の方にご参加いただきました。同報告会では、レール波状摩耗モニタリング装置など、鉄道総研で開発した最近の軌道技術のうち、実用段階に近い 8 件について、実機や模型を用いて開発者が説明を行いました。各技術のメリット・デメリット、営業線等への適用における留意点やコストなど、開発者と参加者との間で率直な意見交換が行なわれました。

記

1. 開催日時：平成 27 年 11 月 27 日(金) 14 時 00 分から 17 時 00 分
2. 場 所：鉄道総研 国立研究所 インタラクションスクエア
3. 展示件名
 - (1) 新幹線用レール鋼製ノーズ可動クロッシング
 - (2) 細粒土混入率が高いバラスト軌道における生分解性ポリマーを用いた軌道補修方法
 - (3) 浮きまくらぎ自動補正装置 レベルキーパー(Level Keeper)
 - (4) レール波状摩耗の効率的な管理ツール
 - (5) 軌道保守管理データベースシステム「LABOCS Ver.4.0」
 - (6) 超軽量軌道検測装置
 - (7) テルミット溶接を用いたレール頭部補修方法
 - (8) ジオポリマーまくらぎ



写真 報告会の様子

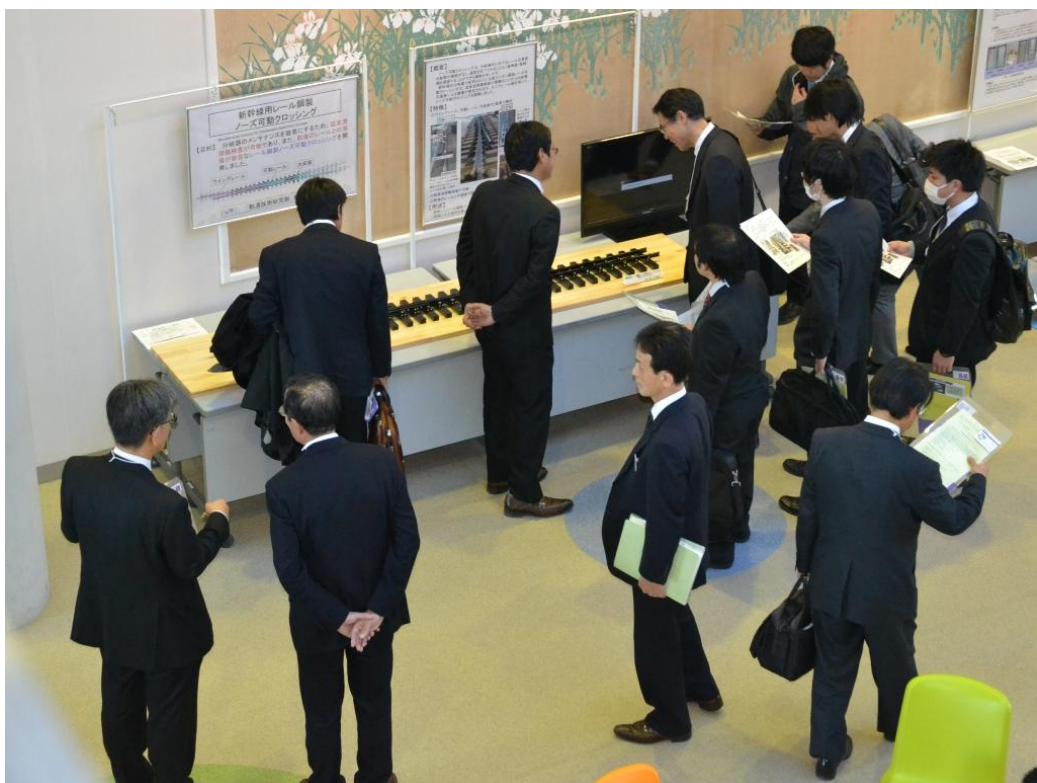


写真 報告会の様子